

本稿執筆現在のカリフォルニア時間2月13日木曜日夕方頃、日本列島は雪だらけである。フェイスブックで見たが大阪でも東京でも車が全て雪見大福になっている。こちら米国でも東部一帯はお化けのような寒波に見舞われどこもかしこもドカ雪に覆われてしまった。そんな状況の中、雪に覆われた厳冬のシカゴから素晴らしいニュースが飛び込んで来た！

先週の土曜日の夜、「ラッシュ・メディカルセンター」内のICU外科ユニットに勤める看護師、アンジェアラ・ワシエクさんは、病院のすぐ隣にある立体駐車場の屋上であちこち走り回る人影を目撃。「寒い中何をしているのだろうか?」、と首をかしげた30分後、彼女が再度おなじ場所に目をやると、何とそこには「Hi Mom. God Bless U」（お母さん、神の祝福がありますように）と雪を掘って書かれた大きなメッセージが！

「一体誰が?」。はやる気持ちを抑えアンジェアラさんは院内の各セクションに電話をかけまくり“犯人探し”をしたところ、血液センターからの報告で、メッセージを書いたのは同病院内で抗がん剤治療中のシャロン・ハートさんのご主人と14歳の息子ウィリアム君であることが分かった。もちろんメッセージはシャロンさんに向けられたものだ。が、ウィリアム君は言う。「初めはただ“お母さん”とだけ書くつもりだったんだ。でも、お父さんと相談して、どうせやるなら病院にいる全てのお母さんたちと働いている人たちを祝福しようということになったんだよ」。寒いシカゴの夜、病院中の人々の心が温まったのは言うまでもない。なるほど、聖書は言う。

「私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリストにあって造られたのです。

神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」エペソ人への手紙2章10節、

と。そうなのだ。善を行うのに資格や学歴、或いは金が必要な分けではない。今すぐ誰にでも出来る。神はその様に我々に期待しておられる。 2014-2-13

